

(社) 全国産業
廃棄物連合会

法改正で働きかけ

業界の諸統計整備も

業界の意見反映へ

(社)全国産業廃棄物連合会(会長・國中賢吉氏)の第25回通常総会が6月10日午後1時から、東京都港区の明治記念館で開催された。

國中会長は「2009年度は廃棄物処理制度の見直しの時期となる。専門委員に連合会から委員を派遣しているが、国に対し、処理

中環審・廃棄物処理制度専門委員会の論点整理に関する深掘りの議論が一巡したことで、

「今後改正の骨子について総合的な検討を行っていく」と語った。2009年度の事業

「今後改正の骨子について総合的な検討を行っていく」と語った。2009年度の事業

「今後改正の骨子について総合的な検討を行っていく」と語った。2009年度の事業

計画は処理法改正への対応はじめ地球温暖化対策のための環境自主行動計画の推進、公益法人制度改革への対応などが重点。

このうち、産業廃棄物処理業界の諸統計の整備は、ビジネスとしての業環境に関するデータ整備に力を入れるとみられる。

廃棄物に関する統計データでは、全国の排

出・処理状況調査報告書などがあるが、個々の処理業者の経営や事業実態に関する統計的なデータ整備は十分とはいえない。一方、調査項目やその方法等について環境省が設置する「産業廃棄物処理業の経営・事業実態の把握手法等の検討会(仮)」を参考にしつつ、検討する。午後6時から懇親会が行われた。



法改正への対応を力説する國中会長

業界の意見・要望を反映させるため、あらゆる機会を通じ、働きかけていく」と決意を披瀝。環境省から谷津龍太郎・廃棄物リサイクル対策部長が来賓として総会に臨席。

平成21年6月29日
週刊循環経済新聞